

地域漁業学会

会 報

【発行】

地域漁業学会 学会事務局
〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4
新共立ビル (株)共立 (担当:三角誠司)
TEL: 03-3551-9896 FAX: 03-3553-2047
E-mail: jrfs@kyoritsu-online.co.jp
http://jrfs.org/

No. 115

2021年12月

目 次

1. 新会長挨拶 亀田 和彦
 2. 地域漁業学会第63回大会に参加して
 - 1) 阿部朱音会員
 - 2) 崎田誠志郎会員
 - 3) 前田竜孝会員
 3. 学会賞選考結果のお知らせ
 4. 新理事・監事、各種委員会の選出
 5. 編集委員会からのお願い、投稿規定・執筆要項改訂のお知らせ
 6. 事務局からのお知らせ
 - 1) 会員情報の登録と更新のお願い
 - 2) 会費納入のお願い
- * 理事会議事録、決算報告、予算計画は別紙をご参照ください。

1. 新会長挨拶

会長就任によせて

地域漁業学会会長 亀田 和彦

このたび、あたらしく当学会の会長を拝命いたしましたので、ご挨拶いたします。

地域漁業学会は、活動の3本柱として地域性、学際性、国際性を掲げています。これは西日本漁業経済学会の改組で得た当学会の「宝」です。それぞれの柱を深化させるだけでなく柱どうしの連携によって学会員の研究活動に新しい刺激を与え、幅を広げることが、この「宝」の意味だと考えます。そこで、当学会は、会員が他者・他分野との接点から刺激を得る機会を、当学会はどれだけ提供できるのか（その機会を作り会員に提供し、会員の研究の発展に寄

与するということ）について、私は強く関心をもっています。

当学会は、「対面型による大会と冊子媒体による論文購読」というこれまで当然視されてきた実施時期・方法・媒体が限定されたものに限らず、コロナ禍を経験しながら、「オンラインによる大会、勉強会、研究発表」を実施できるようになり、その経験を蓄えつつあります。これを当学会の両輪と例えるなら、当学会が、研究成果ばかりでなく実態認識や研究の進捗段階でも会員が相互に関わり合うことに途を開き、そのことが会員による新しい研究の視点を確立し新しい研究の地平を切り開くきっかけになると信じます。

他者の研究に触発される（されあう）ことは、研究歴や世代を超えて、以前にも増して重要です。その柔軟性とスピードは現代や今後の

研究活動に強く求められています。

各位には当学会の活動に更なるご理解を賜りますよう、お願いいたします。 拝

2. 地域漁業学会第63回大会に参加して

(1) 阿部 朱音 会員

京都大学大学院
情報学研究科博士後期課程

今回初めて大会に参加し、また、一般報告の機会をいただいた。私は生物圏情報学講座という研究室に所属しており、Web 漁業日誌を用いた漁業に関する研究をしているものの、他のゼミ生の中に漁業関係の研究をしている者はいない。ゼミではなかなか議論が深まらず悩んでいたところだったので、今回の大会参加は私にとって大変有意義な機会だった。やはり、最もよかったことは、一般報告をした際にご質問やご意見を多数いただけたことだ。地域漁業学会というプラットフォームにおいて、私の研究はこのような視点で見ただけなのだ、と新鮮だった。偶然、食事日誌調査を実施なさった池口明子先生と同じセッションに入れていただいたことも、日誌つながりで大変勉強になった。また以前、ウミガメ混獲調査で30ほどの漁村をめぐって漁業者にインタビュー調査をした経験があり、漁業地域の活性化に関する発表は興味深かった。オンライン上ではあったが、論文でしか存じ上げなかった先生方と交流できたことも嬉しかった。次回も参加することができたら幸いである。

(2) 崎田 誠志郎 会員

日本学術振興会特別研究員 PD
国立民族学博物館

コロナ禍に突入して早1年半余りが経ち、現地調査を筆頭に多くの研究活動が依然としてままならない中で、今大会への参加は自らの研究に対

するモチベーションを再確認する重要な機会となった。オンライン開催で交流の広がりこそ限られたものの、多様な分野が「地域漁業」という共通の関心のもとで議論を交わす場はやはり貴重で刺激に富んだものである。コロナ禍においても、多くの方々が既存の成果を整理したり、新たな調査分析に挑んだりして研究を継続されていることに励まされ、自身もまた研究にいつそう取り組むべく気持ちを新たにすることができたと感じる。大会運営委員・発表者・参加者の皆さまにはこの場を借りて感謝を申し上げたい。

私も登壇者の一人となったシンポジウム「多面的機能から漁業地域活性化を考える」では、漁業経済や漁村社会の地域的特徴とその動態をいかに捉え地域活性化へとつなげていくかについて、地理学の立場からさまざまな観点と事例が提示された。個人的に振り返ってみると、まだキャリアが浅く個別研究発表ばかりをしてきた私にとって、ディシプリンの位置づけや与えられたテーマを意識して発表を構成するというのは初めてのことであった。そのため、発表準備では、空間・スケール・地域性といった地理学の基本概念をどう組み込むか、自分の研究内容と地域活性化がどう結びつくか、あれこれと思いを巡らせることとなった。結果的にはうまくいった部分もそうでない部分もあったが、いずれも地域漁業学会という学際的な場ならではの経験であったように思う。対面にせよオンラインにせよ、次回以降の大会でも多くの刺激や気づきを得られることを期待して、自分自身も積極的に成果を発表すべく研究に邁進していきたい。

(3) 前田 竜孝 会員

関西学院大学大学院
文学研究科研究員

地域漁業学会第63回大会が2021年11月6日、7日の2日間にわたって開催されました。

私は 1 日目のシンポジウムで報告を行いました。私を含めて 4 名の地理学研究者が、「地域活性化」をテーマに研究発表をしました。質疑では、普段参加する地理学会とは異なり、漁業権、流通、資源管理といった漁業活動の実態に関して多くの質問がありました。特定の分野の方法論や認識論についてではなく、現実に行き起きている出来事をベースにした議論ができるのは、「地域」と「漁業」というテーマを共有する研究者が集う本学会ならではの光景だと感じました。

学際的研究の重要性が叫ばれて久しいです。本学会の歴史を振り返ると、経済学、人類学、地理学、水産学、民俗学など多分野の研究者が成果を公表し、活発な議論が交わされてきました。過去には、合宿形式で会員が車座になって研究報告したこともあったと聞いています。幅広い研究を受け入れ、会員間で活発に交流する土壌は、本学会が長年をかけて培ってきたものだと思います。

今大会では、シンポジウム、ミニシンポジウム、一般報告あわせて 20 件の研究発表がありました。発表の内容も、食文化から、卸売市場、経営戦略、外国人技能実習生など多岐にわたりました。これほど領域横断的な研究成果が発表される場は、多くないと思います。分野を超えて研究者が交流できる本学会は大変貴重な場であり、今後もこの姿勢を維持してもらいたいと考えます。

最後になりましたが、今大会の運営に当たられた関係者の方々に感謝申し上げます。2 年続けてのオンライン開催となり、さまざまなご苦勞があったと推察します。来年こそは、対面での大会が開催できることを願い、大会後記に代えさせていただきます。

3. 学会賞選考結果のお知らせ

学会賞選考委員会委員長 田和 正孝

地域漁業学会 2021 年度（第 63 回大会）学会賞・学会奨励賞（中楯賞）が以下の通り決定した

のでここに報告する。

記

〈地域漁業学会賞〉

受賞者：河原 典史 会員

受賞図書：『カナダにおける日本人水産移民の歴史地理学研究』古今書院，2021 年刊

受賞理由：

本書は、第二次世界大戦前にカナダ西海岸への水産移民として太平洋を渡った日本人の時間的・空間的移動の足跡を、歴史地理学的な視点から丹念に検討した労作である。

従前の日本人の移民研究に関しては、著者が語るように、漁業にかかわる移民の研究が等閑視されてきた。本書は、漁業のみならずその関連産業を含めた「水産」という視座から日本人移民の問題に果敢に考究している。具体的には、サケ缶詰産業をめぐる事例や、イギリス系カナダ人の経営する捕鯨業に雇用される事例、独占的に従事した塩ニシン製造業の事例を取りあげる。さらにバンクーバー島における日本人による漁村開拓の分析なども行っている。

河原典史氏による著作には、カナダへの日本人移民について、「水産」という視座から、地理学的手法を着実に踏まえるとともに、ライフヒストリーの検討など、斬新な視点を取り入れて考察している諸点に、研究の独自性が大いに認められる。以上のことから、河原氏を地域漁業学会賞受賞者として推薦するものである。

〈地域漁業学会奨励賞（中楯賞）〉

受賞者：原田 幸子 会員

受賞理由：地域水産業の活性化と漁業の協業化に関する一連の漁業経済学的研究における本学会での活躍。

受賞者：天野 通子 会員

受賞理由：サケマスふ化事業の存立条件および

GAP制度の成立に関する一連の漁業経済学的研究における本学会での活躍。

以上

4. 新理事・監事、各種委員会の選出

大会の際に開催された理事会・総会において、理事・監事の改選が行われました。新理事によって、亀田和彦会員が新会長に選出されました。副会長には波積真理会員が推薦されました。

新理事・監事一覧

会長：亀田和彦（長崎大学）

副会長：波積真理（熊本学園大学）

〈地域理事〉（○は部会長、あいうえお順）

九州・沖縄部会

○波積真理（副会長）、鹿熊信一郎、亀田和彦（会長）、佐久間美明、中村周作

中四国部会

○板倉信明、磯部 作、藤井陽介

近畿部会

○増崎勝敏、河原典史、田和正孝、前潟光弘

東海・北陸部会

○東村玲子、常 清秀、林 紀代美（事務局長）

関東部会

○工藤貴史、橋村 修、宮田 勉、山下東子

東北・北海道部会

○古林英一

〈事務局、各種委員会〉

（○は代表者、*は会長推薦理事、あいうえお順）

事務局担当

○林 紀代美、*天野通子、*眞次一満

会計担当

○山下東子

学会誌編集委員会

○*竹ノ内徳人、*末田智樹、*副島久実、波積真理、*原田幸子、前潟光弘、増崎勝敏、*吉村健司

学会賞選考委員会

○波積真理、磯部 作、伊藤康宏、河原典史、佐久間美明、玉置泰司、東村玲子

研究企画委員会

○常 清秀、池口明子、河原典史、崎田誠志郎、波積真理、原田幸子

国際交流委員会

○宮田 勉、越後 学、鹿熊信一郎、李 銀姫
組織活性化アドバイザー

*若林良和

監事

近藤信義、玉置泰司

5. 編集委員会からのお願い、投稿規定・執筆要項改訂のお知らせ

編集委員長 竹ノ内 徳人

昨年開催の理事会メール審議にて新しい投稿規定・執筆要項が承認されました。投稿システムの改訂・改良のポイントは以下の通りとなります。

・投稿時の書類を「投稿テンプレート」と「申込書」の2点に簡便化した

・投稿テンプレートを新調し約500字/頁にボリュームアップ

※報告論文：あらゆる学問領域のニーズに対応しつつ8ページの規定を維持。

※一般論文：新テンプレートで12ページへと増ページし、重厚にしっかりと書きたいというニーズや、学際性を特徴とする学会の多様な分野からの投稿者の表法発信のしやすさに対応。

これらの改訂・改良にあわせて投稿規定・執筆要項も改訂されておりますので、詳しくは学

会 HP (<http://jrfs.org/toko.html>)にてご確認
ください。

さて論文の投稿についてお願いです。コロナ禍
において皆様の研究活動も不自由な状況が続い
ておられることと存じます。当編集委員会として
は学会誌の発行を例年通りに行うことで、学会員
の皆様の研究活動を微力ながら支援させていた
だきたく活動しております。

つきましては今大会における一般報告につい
て積極的にご投稿いただきますようお願い申し
上げます。また学会総会でもお知らせしましたが、
過去の大会（第 60・61・62 回大会）にて報告し
なおかつ論文投稿されていない原稿も引き続き
受け付けておりますので、この機会を是非ともご
活用いただければと存じます。

① 第 63 回大会に準じた報告論文の投稿受付
切日は以下のとおりです。

第 1 回：2022 年 2 月 18 日（金曜）17 時

第 2 回：同年 3 月 18 日（金曜）17 時

- ・報告論文は、一般報告を行った方を対象とした
速報性・即時性を重視した投稿論文になります。
締切日を設定していますが、投稿受付したもの
から順次審査に入ります。お急ぎの方は早めの
投稿をお勧めいたします。
- ・また過去の大会にて報告された論文の投稿に
つきましても、上記日程で対応いたします。

② シンポジウム報告論文の〆切日は 2022 年 3
月末

各報告者の原稿〆切は、シンポ責任者の指示に
従ってください。

③一般論文・研究ノート・実態調査等

随時受け付けております。こちらのほうも積極
的にご投稿いただけましたら幸いです。

5. 事務局からのお知らせ

1) 会員情報更新、メール登録をお願いし
ます。

すでにお問い合わせをしておりますが、メール登録を
していただくようお願いいたします。オンライン
研究会などのお知らせの受け取りに便利です。

（メールの配信数は多くはありません）。メール
アドレスの変更、住所変更は、WEB 上で可能です。

<http://jrfs.org/nyukai.html>

不明な点がございましたら、ホームページ上の
問い合わせメールでお願いします。事務的なこと
については、共立のご担当者がおこたえいたしま
す。

2) 会費納入のお願い

第 63 期会費納入、及び過年度分についても納
入をお願いいたします。今期の年会費請求は、
2022 年 1 月中旬頃に発送させていただきます。

地域漁業学会

<http://jrfs.org/>

本部事務局 株式会社共立内

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 新共立ビル (株)共立 内

(担当：地域漁業学会) TEL: 03-3551-9896 FAX: 03-3553-2047

郵便振替：01750-0-83886

銀行振込：三菱 UFJ 銀行 新富町支店 普通 0146078